

在留管理と共生

“偽装”移民政策を問う

第二次安倍内閣発足以降、「成長戦略」の名のもとに、「外国人材」受入れ議論が加速化し、既に一部は実行に移され、建設労働者や家事労働者など「新たな外国人労働者」の受入れが進められようとしています。少子高齢化が進行する日本が持続的に成長するために、政府は外国人を「活用」することの必要性を強調しつつ、「移民政策ではない」と付言します。

2000年代半ば以降、人口減少社会の到来とともに、「新たな外国人」受入れをめぐる議論が活発化しました。さらに、「共生」という言葉が政府内でも使用されるようになった。けれ

ども一方で、「新たな外国人」を受け入れ、「共生」していくための基盤として、新しい「在留管理」制度が導入されました。

はたして「在留管理」の強化によって、「共生」は可能なのでしょうか。日本で暮らす外国人のおよそ半数が永住資格をもっているにもかかわらず、「移民政策」は不要なのでしょうか。

本研究セミナーでは、「定住型」受入れを否定するかのような政府の“偽装”移民政策を、参加者の皆さんとともに批判的に考察したいと思います。



日時：2015年 **6月27日**（土） 14:00～17:00

場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 58年館 867教室（東京都千代田区富士見 2-17-1）

*資料代：一般 500円 学生 無料

プログラム

導入 外国人政策の現在（仮）

報告① 在留資格取消し制度の問題点（仮） 丸山 由紀さん（弁護士）

報告② 「労働力」調達として「活用」される技能実習制度（仮） 鳥井 一平さん（全統一労働組合）

報告③ 「再生産労働力」として「活用」される移住女性たち（仮） 伊藤 るりさん（一橋大学教員）



会場：法政大学市ヶ谷キャンパス（富士見校地）
 58年館 867 教室
 東京都千代田区富士見 2-17-1



- 【JR線】総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分
- 【地下鉄線】都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10 分
- 【地下鉄線】東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分
- 【地下鉄線】東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩 10 分
- 【地下鉄線】東京メトロ南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分
- 【地下鉄線】都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩 10 分